

JFMA 3000兆円不動産ストック活用へ提案 時代はアダプティブ・リユース

環境負荷の低減、建築物の資産・文化的価値の継承にも役立つとして、国土交通省の試算によると、国内の土地・建築物の不動産ストックは約3000兆円。一方、建築物の寿命は、一般的に所得税制上の法定耐用年数40〜50年と捉えられがちだが、実際にはもっと長く、木造専用住宅で約69年、鉄筋コンクリート造の事務所で約65年とい

「適応再利用
三つのメリット」

老朽化した建築物を解体し、同じ用途の建築物を建設する「適応再利用」は、既存建築物の構造体などを活用し、ついで、内部のリニューアルや躯体の増減、減築により、二階に合わせた用途転換を実現する。これにより、三つのメリットが期待できるという。

「経済面を見る」
経費が低く、資材や人件費の高騰が続く中、改築に比べ

「制約こそイノベーションの源泉」と力説する米倉会長



行政書士法人スマートサイド(文京区)は6月26日に、都内で「経営事業セミナー」総合評定値

行政書士法人スマートサイド(文京区)は6月26日に、都内で「経営事業セミナー」総合評定値

「(仮称)東五反田二丁目計画新築工事」▽竹中工務店東京本店「(仮称)GLP唐木田データセンター建設プロジェクト」▽東急建設

東京労働局の安全衛生局長表彰 建設関係、5事業場7人に

厚生労働省東京労働局は2026年度の安全衛生に関する東京労働局長表彰の対象を決定した。建設関係で5事業場7人を選んだ。6日に千代田区の日本教育館1ツ橋ホールで開く東京産業安全衛生大会で表彰する。

国土交通省 事前防災対策へ3.4億円配分 茨城県の河川事業に

国土交通省による「防災・減災対策等強化事業推進費」の採択(2026年度1回目)で、関東地方整備局管内の事前防災対策事業1件に3億4700万円が配分された。茨城県の「大規模特

建設業法実務研究会 経費改正に関する研修会開く

建設業法実務研究会(中西豊会長)は6月29日、都内で研修会を開いた。オンラインを含め28人が参加し、知識を深めた。

安全大会 安全は皆で育てるもの

高松テクノサービス(高松市)は6月25日、都内で安全大会を開いた。協力会社や社員など120人が参加し、安

労災の撲滅へ 松下産業

松下産業(文京区、松本正社長)は6月29日に都内で労災撲滅の撲滅に向けた意識を高め

安全の肝は現場所長

北多摩建設業協会(中村知義会長)と建設業労働災害防止協会東京支部(北多摩分会)(加藤潤分会長)は2日、大國魂神

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

山岳トンネル施工管理の効率化 「XR Measure」開発

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発



XR Measureの活用イメージ

建設関係、5事業場7人に

厚生労働省東京労働局は2026年度の安全衛生に関する東京労働局長表彰の対象を決定した。建設関係で5事業場7人を選んだ。6日に千代田区の日本教育館1ツ橋ホールで開く東京産業安全衛生大会で表彰する。

事前防災対策へ3.4億円配分

国土交通省による「防災・減災対策等強化事業推進費」の採択(2026年度1回目)で、関東地方整備局管内の事前防災対策事業1件に3億4700万円が配分された。茨城県の「大規模特

建設業法実務研究会 経費改正に関する研修会開く

建設業法実務研究会(中西豊会長)は6月29日、都内で研修会を開いた。オンラインを含め28人が参加し、知識を深めた。

安全大会 安全は皆で育てるもの

高松テクノサービス(高松市)は6月25日、都内で安全大会を開いた。協力会社や社員など120人が参加し、安

労災の撲滅へ 松下産業

松下産業(文京区、松本正社長)は6月29日に都内で労災撲滅の撲滅に向けた意識を高め

安全の肝は現場所長

北多摩建設業協会(中村知義会長)と建設業労働災害防止協会東京支部(北多摩分会)(加藤潤分会長)は2日、大國魂神

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

日本膜構造協会の第3回表彰 「膜屋根のいえ」など9作品選定

日本膜構造協会(川口)は、第3回表彰対象者を決定した。膜構造デザイン賞(賞状・賞金10万円)は、野久雄(大成建設)、松村秀幹(同)、島村高平(同)、安藤広隆(同)、平野電志(太陽工業)



膜屋根のいえ(撮影/高木智史)

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発

民間人事

三井住友建設(中央区)は、山岳トンネルにおける施工管理の効率化・省力化を目的に、XR技術を活用した計画・管理アプリ「XR Measure」を開発